

光徳だより

kotoku elementary school

kotoku-s@edu.city.kyoto.jp



1 学期もあと少しです



梅雨明けが待たれる頃となりましたが、日ごとに夏の気配が色濃く感じられる季節となりました。蒸し暑い日が続いておりますが、子どもたちは元気に登校し、学習や運動、様々な活動に前向きに取り組んでいます。

気温や湿度の高い日が増えるこの時期は、熱中症への一層の注意が必要となります。学校では、こまめな水分補給や適切な休憩、空調の活用など、子どもたちが安全に過ごせるよう配慮しております。ご家庭におかれましても、引き続き健康観察や水筒の準備など、ご協力をお願いいたします。

さて、1学期もまとめの時期に入りました。各学年では、これまでの学習や生活を振り返り、自分自身の成長を確かめるとともに、次につなげる力を育てています。子どもたち一人一人が達成感と自信を持って夏休みを迎えられるよう、教職員一同、丁寧に支援してまいります。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの健やかな成長のため、変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。



水泳学習が始まりました



いよいよ水泳学習がスタートしました。子どもたちは待ちに待ったプールの授業に、目を輝かせながら取り組んでいます。本校では、安全第一を心がけ、体調チェックや水温・気温の確認を徹底しながら、楽しく学べる水泳指導を行っています。水に慣れることから始め、学年に応じた目標に向かって、少しずつステップアップしていきます。

水泳は、体力づくりだけでなく、命を守る大切な学習でもあります。ご家庭でも、健康管理や持ち物の準備など、ご協力をよろしくお願いいたします。水着等のお洗濯やすぐるでの健康観察へのご協力ありがとうございます。



日	曜日	7月行事予定	保健行事	日	曜日	8月行事予定	保健行事
1	水	木曜校時・完全下校 朝会・感謝状贈呈式 食育指導3-2 安全指導		1	土		
2	木	4年以外給食後完全下校 13:10	フッ化物洗口	2	日		
3	金	わあのなかま 委員会⑥ 木曜校時・完全下校		3	月		
4	土			4	火		
5	日			5	水		
6	月			6	木		
7	火	4時間授業・木曜校時完全下校		7	金		
8	水	たてわり遊び 児童集会		8	土		
9	木	ひかり学級参観⑤	フッ化物洗口	9	日		
10	金	わあのなかま 銀行振替日		10	月	銀行振替日	
11	土			11	火	山の日	
12	日			12	水		
13	月	個人懇談 木曜校時完全下校 1・2年④まで		13	木		
14	火	個人懇談 木曜校時完全下校 1・2年④まで		14	金		
15	水	個人懇談 木曜校時完全下校 1・2年④まで 食育指導4-1		15	土		
16	木	個人懇談 木曜校時完全下校 1・2年④まで	フッ化物洗口	16	日		
17	金	水泳学習片付け6年⑤ 食育指導4-2		17	月		
18	土			18	火		
19	日			19	水		
20	月	海の日		20	木		
21	火			21	金		
22	水	1学期終業式 給食終了 5時間授業・完全下校		22	土		
23	木			23	日		
24	金			24	月		
25	土			25	火	銀行再振替日	
26	日			26	水	2学期始業式 給食開始 5時間授業・完全下校	
27	月	水泳記録会6年 銀行再振替日		27	木		フッ化物洗口
28	火	水鉄砲大会		28	金	わあのなかま 5時間授業	
29	水	水鉄砲大会予備日		29	土		
30	木			30	日		
31	金			31	月		

学校閉鎖日

【9月の主な予定】
3日(木) 1-2以外給食後完全下校
8日(火)~9日(水) 6年修学旅行
15日(火) お話キャラバン
16日(水) 5・6年科学センター学習
25日(金) 5時間授業・完全下校
28日(月) 授業参観・懇談会 1年放課後まなび教室説明会

☆個人懇談会について☆

【7月13日(月) 14日(火) 15日(水) 16日(木)】

18日(木)に懇談会の日時お知らせを配布させていただきました。ご確認ください、ご予約ください。懇談会では、1学期を振り返り、学習や生活での成果や今後の課題についてお伝えします。保護者の方からお尋ねのことがありましたら事前にご準備いただけますと幸いです。懇談時間は15分間程度と短時間ではありますが、有意義な時間になればと思います。よろしくお願いいたします。尚、懇談会中の4日間は短縮5校時で14:10完全下校となります。放課後の時間が長くなります。(1・2年生は4時間授業後13:15下校です。)下校後の過ごし方について、各家庭でお話ししていただきますようお願いいたします。

6月の様子

全校遠足

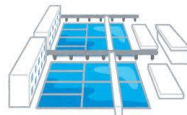


15日(月)に全校遠足で梅小路公園へ行きました。1年生から6年生までのたてわりグループで活動し、上級生が下級生をやさしくリードする姿が多く見られました。

公園では、たてわりグループごとに芝生広場で遊びました。鬼ごっこや「はないちもんめ」、「だるまさんがころんだ」など、それぞれが工夫しながら楽しい時間を過ごしました。学年の枠を越えて交流することで、より一層仲が深まった様子がうかがえました。



4年 社会見学



11日(木)は蹴上浄水場、18日(木)はさすてな京都、30日(火)は鳥羽水環境保全センターへ社会見学に行きました。社会科の学習では、飲料水の供給やごみの処理、下水の処理を行う事業について、そのしくみや役割を学習しています。資料を使って調べるだけでなく、実際の施設を見学したり、職員の方のお話を聞いたりすることで、より詳しく学ぶことができました。こうした社会のしくみが自分たちの生活を支えていることに気づき、自分たちにできることを考えてほしいと思います。



授業参観・引き渡し訓練



19日(金)に授業参観と引き渡し訓練を行いました。今年度2回目の授業参観では、新しい学年がスタートしてから数か月が経ち、子どもたちは落ち着いて学習に向き合っています。学期のはじめは少し緊張していた子どもたちも、今では自信をもって発言したり活動したりする姿が増え、日々の成長を実感しております。

参観後、大きな災害が起こった際に子どもたちを安全に素早く引き渡せるよう、引渡訓練を行いました。いざというときのために備えておきたいと思います。ご協力、ありがとうございました。

5年 花背山の家宿泊学習



8日（月）から10日（水）までの3日間、花背山の家へ宿泊学習に行きました。花背の自然豊かな環境の中、「自立」「協力」「感謝」の3つのめあてを意識しながら、フライングディスクや所内でのスコアオリエンテーリング、冒険の森でのアスレチックなど、さまざまな活動に取り組みました。

キャンプファイヤーでは、火を囲み、グループごとの出し物で大いに盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。野外炊事前の火おこしでは、なかなか火をおこせず苦勞するグループもありましたが、あきらめずに声をかけ合い、最終的にはすべてのグループが火をおこすことができました。野外炊事では、グループで役割分担をしながら調理を行いました。ご飯を炊き、すき焼き風煮を作り、おいしくいただきました。また、ロッジで友達と過ごす時間も、思い出に残る楽しいひとときとなりました。

3日間を通して、どの活動にも友達と協力して取り組むことができました。また、活動を重ねる中で、自分たちで考えて行動する姿や、お世話になった方々に自分からしっかり挨拶する姿が多く見られるようになりました。花背山の家での宿泊学習で学んだことを、これからの生活にも生かしてほしいと思います。



私たちは子どもに対して、「できるようになってほしい」という思いを強くもっています。できないことがあると、つい「どうすればできるようになるか」に目が向きます。それは大切なことですし、必要な支援でもあります。

しかし、その見方だけで子どもを捉えてしまっていないでしょうか。

子どもたちは一人ひとり違います。すぐに行動できる子もいれば、時間をかけて考える子もいます。人と関わるのが得意な子もいれば、それに大きなエネルギーを使う子もいます。同じ「できない」に見える姿でも、その背景や意味は一人一人異なります。

今回のなかよしタイムでは「相手の気持ちを想像すること」や「自分にはどんなことができるかな」と考える学習を行いました。子どもたちは、「誰かの苦手は、誰かの得意」ということに気づき、一人一人の得意なことや苦手なことはちがうからこそ、お互いに支えあうことが大切なのだと考えました。

本来、「苦手なこと」はすべてを克服しなければならないものではありません。社会は、さまざまな人が関わり合いながら成り立っています。ある人の苦手なことを、別の人が支える。そのような関係の中で、私たちは生きています。

それにもかかわらず、「みんなと同じようにできること」を求めすぎてしまうと、子どもは自分の苦手を隠そうとしたり、失敗を恐れたりするようになります。そして、「助けて」と言う力さえ失ってしまうことがあります。

大切なのは、「できる・できない」という一つの尺度で子どもを見るのではなく、「その子はどんなよさをもっているのか」「どのように周りに関わることで力を発揮できるのか」という視点です。

子どもは、自分のよさが認められたときに初めて、他者に向かうことができます。そして、自分の苦手を受け止め、「助けて」と言えるとき、周りとの関係の中で安心して育っていきます。

これから求められるのは、「一人で何でもできる力」ではなく、「違いを前提として、共に生きる力」です。今回の学習を通して、子どもたちが「自分も大切、友達も大切」と感じながらお互いを認め合い、支えあえる関係を少しずつ築いていってほしいと願っています。

お子さんの姿を見たとき、「どうすればできるようになるか」という視点に加えて、「この子はどんなよさで周りにつながっていくのだろうか」と考えてみると、新たな気づきがあるかもしれません。

ぜひ、ご家庭でも、「今日、誰かに優しくできたこと」「誰かに助けてもらってうれしかったこと」などを話題にして頂ければ幸いです。